

熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 37

2020.6.2発行



(玉名市 日吉神社 山田の藤)

CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子)・県看護協会会長あいさつ(嶋田晶子) ……	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ) ……	3P
国会議員たより(木村やよい)・春の叙勲・日看連表彰・TV出演等 ……	4P
熊本県看護連盟総会について ……	5P
第3号議案 2020年度熊本県看護連盟活動計画(案) ……	6~7P
第4号議案 2020年度予算(案) ……	8P
新型コロナウイルス対策に関する状況 ……	9P
議員活動報告・看護協会看護連盟合同研修会 ……	10P
Nursing now・入会会員数・お知らせ・編集後記 ……	12P

熊本県看護連盟会員数：7,023名(2020年5月26日現在)



熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長
矢野 メリ子

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け最善を尽くし日々の業務に従事しておられることと存じます。又、あわせて新人看護職員の入職に伴う様々な行事等大変な時期かとも思います。皆様のご努力に敬意を表する次第です。

熊本県看護連盟も新型コロナウイルス感染防止の観点から3月から支部長会も中止し、計画しました研修会等も中止といたしました。皆様には大変ご迷惑をおかけ致しております。

各施設の状況等をお聞きしておりますと、ケアに必要な不可欠なマスク等の物品の不足に伴う業務への不安と焦り、院内一丸となって新型コロナと戦うための戦略、また、小中高休校に伴う対処法など苦悩しながら最前線で頑張っている様子など様々な声が聞かれます。その都度国会議員の先生方、自民党県連等へ情報提供し政策にいかして頂いております。又、「新型コロナウイルス感染症対応をしている看護職に対する危険手当の支給等について」「妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保について」の要望書を県知事、熊本市長等へ提出致しました。県では早速に「入院患者を受け入れる医療機関に対して医療従事者の処遇改善」として予算化されました。先日は自民党県連に「新型コロナウイルスの感染拡大防止、経済対策等に関する要望書」を熊本県看護協会と連名で提出いたしました。

看護職国会議員の先生方もご活躍です。たかがい 恵美子議員はテレビ出演や予算委員会での質問、石田まさひろ議員は参議院本会議で自民党を代表して質問、あべ俊子議員は小中高等における教育活動の再開等について、木村弥生議員は女性目線のコロナ対策提言などです、大変心強く感じています。

そんな中、令和2年度の入会につきましては多くの施設にご協力いただき4月末で6,900名余の方へ入会いただきました。ありがとうございました。目標を7,500名としておりますので引き続き皆様のご支援、周りの方へのご紹介をよろしくお願いいたします。

6月5日予定の日本看護連盟総会は新型コロナウイルス感染防止を鑑み11月30日に延期となりました。

6月27日予定の熊本県総会につきましては縮小して開催いたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

これからも会員の皆様と共に力を合わせ活動してまいりたいと思います。ご支援をよろしくお願いいたします。

熊本県看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会
会長
嶋田 晶子

風薫る季節、木々の緑も鮮やかになってまいりました。

いま、新型コロナウイルス感染症が全世界で発生しており我が国においても緊急事態宣言が出されています。熊本県は5月12日から感染拡大傾向期から感染確認地域にランクを下げましたが、医療現場ではまだまだ厳しい状況が続いております。日々予防や診療に対応していただいている医療関係者の皆様に心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

看護協会と看護連盟ではマスクや防護服等の不足に伴う現場の厳しい状況や、看護職の離職防止の観点から県と県議会に要望書を提出いたしました。要望を受け、県では入院受け入れ医療機関に対する支援として予算化していただきました。

さて、熊本県看護協会の令和元年度事業はおかげをもちまして計画通りに進めることができました。重点政策の1つ地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮については天草市で「地域包括ケアフォーラムin天草」を開催し、地域住民の身近にいる看護職としての役割を住民と共有できました。令和2年度も引き続き5つの重点政策をさらに強化し進めていきます。少子高齢社会・人口減少が進んでいくこれからの社会は、様々な場所での看護の機能の連携と看護の質向上に向けた取り組みが重要となります。看護協会でも人材育成の強化・看護職の確保に向けた対策をさらに進めていきますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

新年度に入り新型コロナウイルス感染症の影響で、事業を中止や延期をせざるを得なくなっておりますが、今後の状況を確認しながら事業が遂行できるよう取り組んでまいります。

今年度末まで日本看護協会と日本看護連盟は連携して、Nursing Now! キャンペーン「看護の力で健康な社会を!」をメインテーマに取り組んでいます。熊本県看護協会・看護連盟も合同で取り組みますのでご賛同よろしくお願いいたします。今年度も皆様と共に協会と連盟が連携し看護職の未来が明るくなるよう取り組んでまいりましょう。

国会議員たより



衆議院議員
あべ 俊子

- ◎自由民主党
・国会対策副委員長
（厚生労働担当、復興担当）
- ◎衆議院
・厚生労働委員会委員

先般の新型コロナウイルス感染症対策への皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。
看護職の皆さまには、現場にて大変ご苦勞・ご負担をおかけしていると承知しております。国政からの皆さまへのご支援を考え、自民党看護問題対策議員連盟として、「いのちの最前線に立つ看護師等の安全な就業環境の早急な実現を求める決議」を自民党・政府に提出いたしました。

まずは、新型コロナウイルス感染症者の「いのち」を守る。その「いのち」を守るために、最前線で戦っている看護職の「いのち・くらし」を守る必要があります。

そのために必要なガウンなどの個人防護具の確保、医療者の家族を新型コロナウイルス感染症から守るための宿泊費の補助、保育・介護支援などを求めました。あわせて、長時間勤務に係る心身負荷を勘案した技術評価の確実な実施も、強く求めています。

訪問看護の「遠隔対応」についても予算措置の対応とすること。また、新型コロナウイルス対策で実施が困難になっている臨床実習の単位認可についても、所管の各省大臣にお願いしたところでございます。

この困難に打ち勝ち、平穏な日々が戻りますよう、国政にて精一杯活動させていただきますので、引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いたします。



参議院議員
たかがい 恵美子

- ◎自由民主党
・文部科学部会長
- ◎参議院
・厚生労働委員会委員

熊本県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
いのちの最前線で活躍する看護職の仲間の皆様には、大変なご苦勞をおかけしております。新型コロナウイルスの猛攻は暮らしの平穏を揺るがし、人々の大切な生命を奪い、保健医療の現場にも深い影を落としています。激務の中、皆様には多大なるご貢献を賜っており深く感謝申し上げます。またご家族の皆様にも心から御礼申し上げます。

国内感染例の確認から5ヶ月が経ちますけれども、各地において未だ厳しい攻防が続いています。看護職は国民のいのちと暮らしを守る専門家であり社会の大切な宝ですから、どうかご自愛の上、感染制御等の任務にあたられますよう切に願っております。各々の活動する場所は遠く離れておりますが、心は何時も傍にあることを信じ、共に苦難を乗り越えたいと思います。私も皆様と共に、いまできることに全力を尽くします。

緊急経済対策においては、看護職の安全な就業環境の確保と手厚い報酬の担保、看護職員の広域調整システム構築の補助、保育・介護等家族への支援を含む就業継続支援など様々な事業が実施されています。また学校養成所等における休講・実習中止等への柔軟な救済と卒後の特段の研修実施等を提案し、看護学生の将来不安を払拭する緊急措置についても検討を進めています。

なるべく早く、皆様に実感していただける政策が発信されるよう、できる限りがんばります。



参議院議員
石田まさひろ

- ◎自由民主党
・副幹事長
- ◎参議院
・厚生労働委員会筆頭理事

熊本県看護連盟の皆様、日頃よりご支援を賜りありがとうございます。医療現場や介護現場、または家庭においてさえ、新型コロナウイルスによる不安や疲労と戦いながら活動していることと拝察いたします。日本が医療崩壊を招いていない大きな理由の一つは、現場で活躍する看護職の使命感と献身的な努力にあると思っています。現場で働く会員各位と、お支え頂いているOB・OGの皆様にご心より感謝申し上げます。

「医療用マスクが足りない」「消毒液が足りない」「現場が疲弊している」「高熱が出ていても検査を受けられない」。連日現場から不安や物資の不足など様々な声を頂戴しております。各自治体に決定権があり進めていかなければならない事例も多々ありますが、まずは国でしっかりと大枠を作り、またその声を届けることで少しでも不安の解消につながる様、努めているところであります。

参議院厚生労働委員会の筆頭理事として厚労省に現場の声を届け、診療報酬上の加算要件に新型コロナウイルス対応を加えることや、施設基準の大幅な緩和など、この特殊な条件における皆様の頑張りが少しでも報われるよう尽力しています。

今、最も大切なことは感染者数の拡大を抑え、死者をいかに減らすか。日本の医療にとって、日本国民を守るために引き続き重要な局面です。私も、国政の場で日本の医療を守る活動を必死で続けて参ります。熊本県看護連盟の皆様、引き続き現場の声をお聞かせください。力を合わせ看護の力でこの困難を乗り越えていきましょう。

国会議員たより



衆議院議員
木村やよい
◎自由民主党
・総務大臣政務官

熊本県看護連盟の皆さま、こんにちは。

今、現場で、医療崩壊をギリギリのところまで食い止め、頑張っておられます全ての看護職の皆さまに、心からのエールを送ります。

未知なるウイルスとの闘い、リスクと不安の中で使命を果たしているにもかかわらず、ご本人やご家族が差別や偏見の標的にされている現実が胸が痛みます。皆さまの専門性を正しく評価し、直接手当というかたちで報われるよう、力を尽くしてまいります。

私が所属する自民党女性議員飛躍の会（議連）では「医療崩壊を防ぐために自らの危険を顧みずに業務に従事している看護職等に直接10万円程度の手当て等を与える」との文言を入れた要望を、4月9日、安倍総理に手渡しました。看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、皆さまとともに、現場の声を丁寧にうかがいながら、力を尽くします。

未曾有の国難ではありますが、全力で日本の医療と看護職の皆さまの労働環境と健康を守れるよう頑張ります。この国難を看護の力で乗り越え、心身ともに健康な日本を取り戻してまいります。一緒に頑張りましょう！

令和2年

春の叙勲 受章おめでとうございます

- ◆ 旭日双光章 三倉美千子 様
(元 人吉市議) (前 熊本県看護連盟県南4支部支部長)
- ◆ 瑞宝双光章 稲葉 真理 様
(元 国立病院機構 熊本再春医療センター看護部長)

永年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

日本看護連盟創立60周年記念 表彰者決定しました。

賞の名称	氏 名
特別功労賞	重松 節美
役員功労賞	宮崎 律子
役員功労賞	山本 史恵
会員功労賞	岩城まつ子
会員功労賞	石本 裕子
会員功労賞	蓑田 純子
会員功労賞	工藤 秀子
会員功労賞	笹原あゆみ

たかがい恵美子さんテレビ・石田まさひろさんラジオ出演

◎BS-TBS「報道1930」出演 2020年2月18日(火)

生放送番組「報道1930」にゲストとして出演しました。猛威をふるう「新型コロナウイルス」を議題に今後の行方、対策の在り方など議論を行いました。



◎BSフジ「ライブプライムニュース」出演 2020年2月27日(木)

プライムニュースにゲストとして出演しました。「新型コロナウイルスによる“医療崩壊リスク”と対策」をテーマに横倉義武日本医師会会長、増田道明獨協医科大学医学部教授とともに議論しました。



◎BS日テレ「深層ニュース」に出演 2020年4月6日(月)

回避できる？医療崩壊 東京の感染者最多更新患者受け入れ現場の声
【ゲスト】高階恵美子
(前厚生労働副大臣、自民党 参議院議員)



◎石田まさひろ参議院議員が新型コロナウイルス感染予防防止のため、最前線で頑張っているキーワーカーの声を聴き応援する特別ラジオ番組に出演しました。

日 時:2020年5月6日(水) 19時~20時

ラジオ局:ニッポン放送

番組名:ゴールデンウィーク特番「voice of workers」

熊本県看護連盟通常総会について

今年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小規模、出席者限定にて開催いたします。

ご依頼した出席者以外の会員の皆様は、新型コロナウイルス感染予防の観点から出席を見送られますようお願いいたします。

2020年度 熊本県看護連盟通常総会プログラム

日時 2020年6月27日(土) 14:00～15:30

会場 ホテル熊本テルサ テルサホール

13:30	開場
13:55	オリエンテーション
14:00	開会 物故会員への黙禱 会長挨拶
14:05	議長団選出 議長挨拶 議事録署名人の選出
14:10	審議事項 第1号議案 名誉会員の推薦(案) 名誉会員証贈呈
14:20	報告事項 2019年度 熊本県看護連盟通常総会報告 2019年度 都道府県会長会報告 2019年度 役員会報告 2019年度 活動報告 2019年度 支部活動報告(紙上報告) 2019年度 青年部活動報告(紙上報告) 2019年度 委員会報告(紙上報告) 2019年度 決算報告 2019年度 監査報告
14:50	審議事項 第2号議案 2020年度スローガン(案) 第3号議案 2020年度活動計画(案) 第4号議案 2020年度予算(案) 第5号議案 選挙対策(案) 第6号議案 役員選出
15:20	新旧役員紹介 綱領宣言(黙読) 連盟歌(斉唱なし)
15:30	閉会

第3号議案 2020年度熊本県看護連盟活動計画 (案)

重点方針：見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

目的	目標	方針	活動
政治力・政策実現力の強化	1.看護職国会議員の選出・支援	1) 看護職国会議員の活動を知る、知らせる。 2) 4人の看護職国会議員の確保 3) 第26回参議院議員選挙活動の推進。 4) 主権者意識を高め、選挙に関心を持ち行動する。	① 国政報告会や国会議員との意見交換会等を開催する。 ② 広報紙や活動報告リーフレット等を媒体にして、看護職議員の活動を会員へ知らせる。 ③ 岡山県看護連盟、京都府看護連盟の支援を行う。 ④ 第26回参議院議員選挙に向けた選挙体制をつくる。 ⑤ コンブライアーズに基づいた活動を実施する。(公職選挙法の遵守) ⑥ 各級選挙において、投票行動をとる(選挙に行く、期日前投票を推進する)。 ⑦ 本部からの看護政策に関する情報を会員に知らせる。 ⑧ 看護問題対策議員連盟の活動状況を把握し、会員に知らせる。 ⑨ 現場の声を集約し、連盟本部や代表議員に伝える。また、県政への要望活動に活かす。 ⑩ 現場の声に対する対応を会員に知らせる。
	2.看護政策の実現	1) 日本看護連盟・熊本県看護連盟の政策実現力の強化	① 県選出の国会議員の政策説明会等に参加し情報交換を行い連携を密にする。 ② 支持政党を支援すると共に看護問題に関する要望活動をおこなう。 ③ 研修会をおとし、政策的に解決すべき課題を抽出する。 ④ 現場の課題を解決する戦略を練る。
	3.現場の課題への対応	1) 現場の課題を看護政策に結びつける意識を育む 2) 新型コロナウイルス感染症対策	① 感染症対策に関する現状把握し、日本看護連盟や関係国会議員等に情報提供する。 ② 熊本県看護協会と協力して、地方議会・地方行政へ要望活動を行う。 ③ 成果を会員に知らせ、必要に応じて、会員や看護職への支援する。
	4. 地方議会・地方行政への影響力の強化	1) 地方議員との情報交換と積極的・活動的支援	① 県議会議員との交流を図り、看護問題に対する理解と協力を得る。 ② 地方議員に看護現場体験の機会を作り、理解と協力を得る。(Nursing・nowキャンペーン事業) ③ 地方議員が主催する行事や会合等に参加し交流を図る。
	5. 地方議員の確立と支援	2) 地方議会・地方行政等への要望行動	① 地方議会及び地方行政へ看護政策に関する要望活動を行う。 ② 地方行政との情報交換を行う。
組織力の強化・拡大	1.看護連盟活動強化の周知徹底	1) 地方議員候補者の発掘と人材育成を図る	① 地方議員立候補者への支援を行う。 ② 政治アカデミー修了者を有効活用し、議員を目指す人材を育てる。 ③ 政治・政策に関する育成プログラムへの参加を促す。 ④ 地方議員の活動状況等を知り、興味を持つ人材を育成する。 ⑤ 県連盟機関紙「ひごばさ」を発行し、連盟活動の周知に活用する。 ⑥ 日本看護連盟、熊本県看護連盟のホームページを活用した情報提供を継続する。
	2.会員数の増加	2) 自律した会員の育成と活発な情報交換	③ 看護職国会議員の活動報告やビデオメッセージ等を活用する。 ④ 看護管理者・看護教育者研修を開催し、会員育成に理解と協力を得る。 ⑤ 支部役員・連絡員(リーダー)研修を開催し、役割意識の強化を図る。 ⑥ 若手・新入会員を対象とした基礎研修を実施する。 ⑦ 支部・地域毎の研修を実施し、会員が受講しやすい環境をつくる。 ⑧ 県議会傍聴の機会を持ち、国政・県政や連盟活動への理解を深める。
		3) OB会の組織化・活性化	① OB会の位置づけを検討し、地域への連盟活動の普及を図る。 ② OB交流会の内容を検討し、参加者を増やす。 ③ 令和2年度の増員目標数を400人とし、7500以上の会員数とする。

目的	目標	方針	活動
組織力の強化・拡大	4) 施設訪問を活発に行う。	4) 施設訪問を行い、管理者の活動への協力と支援を依頼する。 ②未加入施設への訪問を行い、連盟活動への理解と協力、入会者を増やす。 5) 学生会員の確保	①施設訪問を行い、管理者の活動への協力と支援を依頼する。 ②未加入施設への訪問を行い、連盟活動への理解と協力、入会者を増やす。 ③実習施設において看護学生に働きかけ学生会員の入会を促す。 ④若手会員向けの研修参加を呼び掛ける ⑤学生へ看護政策に関する情報を提供する。 ⑥看護教育に携わる看護職との交流を図り、連盟活動への協力を得る。 ⑦訪問看護や地域ケアに携わる看護職との交流を図り、連盟活動への協力を得る。 ⑧熊本県助産師会、日本精神科看護協会他看護職関係団体との交流の機会を作る。
	3. 支部組織活動の強化・促進	1) 支部組織の強化 2) 支部における研修の充実	①支部長会の情報を活用して、連盟の役割や働きを会員に知らせる。 ②役割を發揮できる適正な数のリーダーを育成する。(700人・会員10人に1人・各看護単位2名) ③青年部メンバーを各支部2人以上にする。 ④看護協会の支部活動(集会や役員会)と連携し、看護政策の実現状況を会員に知らせる。 ⑤支部の施設・部署管理者交流の機会を作る。 ⑥連絡員等が行う活動に対して、看護管理者(施設・部署)の支援・協力を得る。 ⑦県連盟と協力して、地域別(支部合同)・少人数の研修会を開催し連盟活動の周知を行う。 ⑧支部・施設における基礎研修・ミニ研修を行い、一人ひとりの会員へ情報を提供する。
	4. 若手会員の育成	1) 青年部の活動を強化する。 2) 青年部の活力を研修やポリナビワークショップに活かす。	①青年部代表が県主催の支部長会議に参加する。 ②支部の幹事として、基礎研修・会員研修・ミニ研修等の活動を積極的に行う。 ③看護政策(政治)に興味関心を持ち積極的に活動する。 ④若手・新入会員研修の企画運営を行う。 ⑤熊本県ポリナビワークショップを開催する。 ⑥関係団体等の青年部との交流を促進する。 ⑦全国・九州ブロック青年部会議の情報を共有し活動に活かす
	5. 看護協会と看護連盟の連携と協働	1) 熊本県看護協会との連携と協働	①熊本県看護協会と協議を行い共同して要望書を作成し、行政・議会等へ働きかける。 ②看護協会と協力して、Nursing・nowキャンペーン事業を推進する。 ③日本看護連盟・看護職国会議員からの情報を随時提供し情報共有を図る。 ④看護協会・看護連盟の役員会議において、相互に情報提供を行う。 ⑤県役員・支部役員の交流を持ち、情報共有を図る。また、未入会施設入会を推奨する。 ⑥看護協会と合同の研修会を開催し、連盟活動への賛同者を増やす。
	6. 熊本県看護連盟の適正な運営	1) 熊本県看護連盟規約等に基づいた効率的な運営	①規約等に基づく、効果的・効率的な運営を行う。 ②会議・研修等の報告書等を適切に管理する。 ③財政の確保と効果的な活用を行う。 ④現状に応じた規約・細則等を見直しを行い、次年度総会への提案する。 ⑤九州ブロック看護管理者等政策セミナーへ参加し、連盟活動への理解と普及を図る。 ⑥九州ブロックの連携強化を図る
会員の充実に福祉	7. ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	①医療・福祉系等団体(齒科技工士・臨床検査・栄養士・保育士・介護職)との交流・連携を図る。 ②支援団体、支援企業との交流の機会を作る。
	8. その他の組織との連携・協働	1) 看護職以外の関係団体との交流促進	①日本看護連盟や熊本県看護協会等からタイムリーな情報収集を行い、被災地の支援に活かす。 ②県会員被災者に対して災害見舞金の配付等を行う。 ③国会議員・県会議員、関係団体と連携し被災地の現状を伝え、支援の協力を要請する。 ④名誉会員・表彰者への対応をする。 ⑤物政者への弔慰の対応をする。 ⑥叙勲等受賞者への対応をする。
	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	①コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための教育と指導を徹底する。 ②諸般の疑問・問題には、専門家と相談し速やかに解決する。
2. 慶弔への対応	1) 被災地の現場の声を国会議員、連盟本部に伝える。 1) 看護連盟内規に基づく対応		
3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証		

第4号議案 2020年度 予算(案)

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項 目	2020年度予算額	備 考
I 会 費	18,000,000	正会員7,200名×2,500円
II 交 付 金	18,000,000	本部交付金、研修助成金
III 研 修 会 費	0	県主催研修会参加費
IV 預 金 利 子	500	
V 広 告 料	100,000	広報紙ひごつばき
VI 寄 附 金	0	
VII 雑 収 入	5,000	
前 年 度 繰 越 金	23,731,751	
総 計	59,837,251	

(支出の部)

項 目	2020年度予算額	備 考
I 会 議 諸 費	4,350,000	
総 会 費	1,500,000	通常総会経費
支 部 長 合 同 会 費	1,500,000	月1回開催
役 員 会 費	350,000	適時開催
委 員 会 費	1,000,000	広報委員会、青年部会
II 事 業 費	27,000,000	
組 織 対 策 費	15,000,000	本部主催会議・総会等出張費
教 育 費	3,000,000	研修費
渉 外 費	500,000	慶弔費
機 関 紙 発 行 費	2,000,000	ひごつばき発行費
支 部 交 付 金	6,500,000	支部組織対策費・研修費等
III 運 営 維 持 費	26,400,000	
人 件 費	18,000,000	会長・職員・パート給与、社会保険事業主負担
光 熱 水 費	400,000	電気、水道料
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,000,000	備品、事務用品等
事 務 所 費	6,000,000	事務所借料、通信費、印刷費等
事 務 所 設 置 準 備 資 金	1,000,000	事務所等災害対応の備えとして別途積立
IV 予 備 費	2,087,251	
総 計	59,837,251	



新型コロナウイルス対策に関する状況



・・・・・・・・熊本県看護連盟の取り組み・・・・・・・・

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に広がりました。我国でも1万7千人の感染者を出し、熊本県でも47名の感染者が判明し、医療施設では、緊張の中、感染の危険と闘いながら頑張っておられます。

熊本県看護連盟では新型コロナウイルス対策と現状について、会員施設等に聞き取り調査を行うとともに、情報提供も行いました。これらの結果は、看護職代表国会議員や日本看護連盟等に随時情報提供しました。また、県への要望活動にも繋げました。議員からは、熊本からの情報がきめ細かく、参考になり、ありがたいとお礼の声も聴かれています。

「新型コロナウイルス対策に関する聞き取り状況」

2020年3月から5月まで、公的病院や医療法人等53病院と支部長に対して、休校等に伴う看護職の不足はないか、病院の対応、外来者・患者への対応、課題等を聞いた。

- ・看護要員の不足感は少ない。保育園の休園になると休む看護職が増える恐れあり。
- ・病院の対応は、県外への遠出禁止、出入口での体温測定等。
- ・課題は、マスク・ガウン等が不足気味、機材不足がちのため環境整備で対応。
- ・自施設に感染者が来院したときの衛生材料不足のため対応が不安。



「マスク調達支援」

4月初め、熊本県選出国議員後援会の方から声かけがあり、聞き取りで、訪問看護や在宅ケアに携わる方がマスクの調達で苦慮している声があった為、優先し、マスク調達を支援しました。県訪問看護ステーション連絡協議会の202施設に情報提供し、希望のあった61施設に、4月末～5月初旬に3万5千枚を届けました。ご紹介いただきありがたいと思っております。

「マスクの寄贈」

美伸(ビシン)という会社から、1万枚のマスクが寄贈されました。4月20日には、これを各支部に配布し、支部から各会員施設に配布されています。



「要望書の提出」

- ・4月21日に熊本県看護連盟会長名で、熊本県知事、熊本県議会議長、自民党熊本県連会長、自民党県議団団長、熊本市長に下記①②を提出。
- ・4月28日付で、熊本県看護協会会長・熊本県看護連盟会長の連名で、自民党熊本県連会長宛てに、下記6項目の要望を提出。

①新型コロナウイルス感染症に対応している看護職に対する危険手当の支給等について
②妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保について
③訪問看護従事者の確保及び事業所存続支援
④医療機関内におけるPCR検査
⑤医療機関・介護施設。訪問看護事業書等の衛生材料の確実な供給
⑥医療従事者への嫌悪や差別、偏見に関する対応

※5月1日には、県医療政策課から「入院医療機関に対する支援(新型コロナウイルス感染症への対応)」について、予算確保等の説明がありました。

議員活動報告より



あべ俊子 衆議院議員

1月27日と2月1日に衆議院予算委員会では地方創生と女性活躍他について質問しました。弱者に対して、その場に伺い、お顔を拝見しながら直接声を聞いていく。どうなれば、より暮らしやすい社会を作ることができるのかを、一緒に考えていきます。

「現場主義」とは、古い言葉ですが、政治の基本だと考えています。「政治は弱者のためにある」と信じるから、活動を続けます。今回、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、居住する場所を失った方々のための緊急の政策提言を、4月吉日、自由民主党の新型コロナウイルス関連肺炎対策本部田村憲久本部長に提出いたしました。これからも、「住居は社会保障の根幹」という考えをもとに、6月の骨太方針、次回の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策や補正予算への組み入れに提案を続けて参ります。



たかがい恵美子 参議院議員

新型コロナウイルス対策本部を連日開催し各省庁より情報共有を行い対応しております。3月26日に成立した予算の集中審議で自民党を代表して質問に立ちました。主な内容は、公衆衛生学的見地での危機管理対応とリスクコミュニケーション対策官の養成、医療人材の広域的派遣等の支援及び物資の調達、新型コロナ感染症の制御に向けた革新的技術開発などです。報道番組にも3回ほど出演しました。前厚生労働副大臣として、新型コロナウイルスの対応・対策や「医療崩壊の危機」などについてです。4月16日には自民党の医療系議員による、「新型コロナウイルス対策医師議員団本部」が立ち上がりました。さらには、5月1日自民党看護問題対策議員連盟は、いのちの最前線に立つ看護師等の安全な就業環境の早急な実現を求める決議を西村国務大臣、高市総務大臣（代受：長谷川総務副大臣）、萩生田文部科学大臣、加藤厚生労働大臣に手交しました。いのちの現場でがんばっている皆様に、心から感謝を申し上げます。



石田まさひろ 参議院議員

4月16日、参議院厚生労働委員会を開き、新型コロナウイルス感染症対策について質疑を行いました。緊急事態宣言を受けて国会も会議を減らしている中で、例外的に厚生労働委員会は開かれました。4年前の診療報酬で創設された認知症ケア加算。今回はその見直しです。新たに「専任医師または専門性の高い看護師による取組を評価する点数」が加わりました。記録や会議の簡素化やケアの質の向上についても盛り込まれました。ICTの利活用については要件が緩和され、看護も活用を考えるべきと考えています。

新型コロナウイルス感染症の利用者に対する訪問看護を実施する場合について、訪問看護ステーションにおいては特別管理加算（2,500円）を、医療機関においては在宅移行管理加算（250点）を、月に1回算定できるとされた。現実にはそった見直しが行われています。でもまだいろんな限界もあるし、疑問もあります。病院からの訪問看護や介護報酬での検討も必要です。引き続き、内容の改善を求めています。



木村やよい 衆議院議員

新型コロナウイルスによって、国民の皆様の安全、安心が脅かされ、経済への深刻な影響も懸念されています。政府に対しては、2月6日、27日の二度にわたり、党として水際対策、医療・健康対策などの面から提言を行ってきました。3月3日には、経済面からの緊急対応措置（第一弾）として「新型コロナウイルスによる経済への影響緩和策」を取りまとめ、岸田文雄政調会長が安倍総理に申し入れました。第193回通常国会では、看護教育と在宅医療、医療・介護・子育て支援などについて4回にわたり質問をしました。5月8日、新型コロナウイルス感染症対策テックチームの第3回会議に出席し、ICTを活用した新型コロナウイルス感染症に関する課題解決について、関係の各大臣・副大臣及び民間事業者と意見交換を行いました。看護職が誇りとインセンティブをもって働けるように応援していきたいです。

熊本県看護協会・熊本県看護連盟合同研修会に参加して

熊本赤十字病院 長小田 かおり

2月2日、熊本県看護協会・熊本県看護連盟の合同研修会が行われ、日本看護協会の福井トシ子会長によるパワフルでユーモアのある大変貴重な講演を聴かせていただきました。

講演では少子・超高齢化・人口減少など社会の変化や地域の機能の弱体化を理解し、それに対応できる看護の力が必要であること、看護師による継続的な予防活動も重要であることを知りました。私はこれまで社会や地域を意識した活動は十分にできていません。今後は社会の変化に目を向け、地域の方々と積極的に関わり理解することで、地域に寄り添うことのできる看護師を目指したいです。今回、注視すべき課題や看護のあるべき姿、それを実現するため看護協会・看護連盟の役割の大切さを改めて感じ大変良い機会となりました。



水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛

睡眠セミナー

無料サービスのご案内



東洋羽毛(ノーリット)株式会社 枕井かおりさん

よく眠った人には、かなわない。

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

*セミナーは研修内容及び研修時間についてご相談の上、実施させていただきます。

*セミナーはご希望により何回でも承ることが可能です。

《睡眠セミナー実績例》

- ◇北海道看護連盟札幌支部
- ◇宮城県看護協会岩沼地区
- ◇茨城県学校生活協同組合
- ◇昭和大学病院
- ◇神奈川県立足柄上病院
- ◇富山市立新庄小学校
- ◇富士中央病院
- ◇名古屋掖済会病院
- ◇北大阪警察病院
- ◇神戸赤十字病院
- ◇広島県介護福祉士会
- ◇佐世保愛恵病院
- ◇枕崎市立病院 等多数

睡眠セミナーの様子



セミナー受講後の感想

- 寝の深い睡眠をとることで充実した日々が送れることが改めてわかりました。
- 不規則な勤務の中でもできることを教えてもらったので参考になった。
- 自分の睡眠の傾向を知ることができてよかったです。
- いつでもどこでも眠れるのは、良いことかなと思っていましたが、実は良くないと知りました。
- ヒューマンエラーが起こりやすい睡眠帯というのを初めて知り、気を付けていこうと思った。
- 良い睡眠がとれるように、今日からひとつずつ行ってみます。楽しい話でした。

東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業所

〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号
フリーコール 0120-382808

お任せ下さい! 夢100%...心の栄養分

暮らしのコーディネイト



みんなに ふわふわ
0120-32-2020



〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

取扱品目

- 羽毛ふとん ●羊毛ふとん
- ダウンジャケット
- シルク織通
- ムートンカーペット etc

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

日本看護連盟は、日本看護協会と連携し“Nursing now”（看護の力で健康社会を！！）のキャンペーン活動を行っています。

ナイチンゲール生誕200年になる2020年に向け看護職が持つ可能性を最大限に発揮し健康課題への取り組みの中心に立ち人々の健康向上に貢献するために行動する世界的キャンペーンです。健康な社会づくりに取り組んでまいりましょう。



2020年度の入会を受付けています。

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう！

熊本県看護連盟の
目標会員は **7,500人**です！

年会費

日本看護連盟会費 5,000円

熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	H29年度	H30年度	2019年度	2020年度(5月26日現在)
看護協会(人)	15,134	15,723	15,866	14,165
看護連盟(人)	7,420	7,331	7,143	7,023
協会員比率(%)	49.0%	46.6%	45.0%	49.5%

お知らせ

今後の事業開催予定

- ◎看護管理者等政策セミナー
- ◎若手会員・新入会員研修(1)
- ◎若手会員・新入会員研修(2)
- ◎会員研修
- ◎OB交流会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催日・会場は未定となっております。

編集後記

この度、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また最前線で健康福祉に貢献して頂いている医療従事者、介護従事者に心より感謝致します。不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましても、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

なお、今回号の「会員のひろば」は都合によりお休みさせて頂きました。

○広報委員

市村 栄子 園田 孝子
木村 優一 貞松由紀江

○担当役員

山本 史恵 岩城まつ子
村上 元子

発行所／熊本県看護連盟

〒862-0950 熊本中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号

TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163

E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp

HP <http://knf043.sakura.ne.jp/>

発行責任者
矢野メリ子